

すべてリニア建設のための経費節減だ！

その1～新大阪駅の問題点・・・

11月25日付けで「新大阪駅ホーム乗務員詰所の締め切りについて」という運転科の連絡掲示が掲示されました。

内容は新大阪駅21番線～27番線の東京方及び、23, 24番線博多方乗務員詰所を順次締め切るというもので、締め切る理由は「セキュリティ確保や防火の観点から平常時、基本的に締め切り扱いとする」というものです。

これまで早め出場の励行に徹する目的で点呼後、乗り継ぎ詰所に出向く乗務員は数多くいて、中には面談時に事故防止の対策として、担当助役から高い評価を得ていた乗務員もいました。

「セキュリティ確保や防火の観点から締め切る」という理由ですが、実際この間、乗り継ぎ詰所は施錠されているし、警備員も見回りしていて「セキュリティ上問題」があったことなど一度もありません。また、「防火の観点」と言っていますが、レンジ等もなく、禁煙であるため出火の恐れはまったくありません。

会社はなぜ乗務員詰所を締め切るのでしょうか？

清掃費と光熱費の削減のためでしょうか？

その2～名古屋車両所の問題点・・・

11月17日から名古屋車両所の浴室が新しくなりました。

しかし、浴室シャワーの水圧が以前の浴室シャワー4分の1程度の水圧で、洗い流すのに苦労します。

会社はなぜシャワーの水圧を低くするのでしょうか？

水道代の削減のためでしょうか？

その3～大二輪自所乗務員宿泊所の問題点・・・

乗務員宿泊所のトイレの手洗水の水量（水圧）が低いため、手が洗いにくい。

会社はなぜ手洗水の水量を低くするのでしょうか？

水道代の削減のためでしょうか？

すべてリニア建設のために現場は経費節減で益々働きにくくなります。

事故防止、早め出場するため乗務員詰所は締め切らないで下さい！

きれいに身体の汚れを洗い流せるようにシャワーの水圧を上げて下さい！

きれいに手の汚れを洗い流せるように手洗水の水量を上げて下さい！

各関係所長殿、以上の声を真摯に受け取って実行していただきたいものです！